

# 明星

亀山市立白川小学校だより  
第75号  
平成28年2月18日（文責 浅熊）

～であい ふれあい そして未来へ～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成

## 「ありがとう」の気持ちを込めて・・・(ふれあい給食)

17日(水)42名のゲストの皆さんに来ていただき、全校のみんなとふれあい給食をさせていただきました。

3時間目、高学年のみんなが体育館に集まり、シートをひいたり机や座布団を並べたりと準備を進めてくれました。会場の準備が整い、ゲストの皆さんも12時にはほとんどの方が集まってきていただきました。みんなが席に着いて、6年生の増田やまとさんの司会で、ふれあい給食が始まりました。

参加していただいたゲストの皆さんの紹介から始まり、保健委員会による発表、感謝状わたし、すみがくの時間に書いた地域の方へのお礼の短冊の発表と食事を挟んで、「ありがとう」の気持ちを込めた言葉が続きます。

普段、いろいろな場で子どもたちを見守り、あたたかく、時には厳しく励ましてくださる皆様のおかげと心から感謝申し上げます。

最後には、ゲストの皆様を代表して打田一生(かずお)さんからご挨拶をいただきました。昭和30年頃、自分たちが給食を食べていた当時のお話など、貴重なお話も聞かせていただくことができました。

お忙しいなか、たくさんの方にご来校いただき本当にありがとうございました。



## 60年ぶりに白川小学校へ

今日、白川小学校へ懐かしいお客様がやってきてくれました。何と60年ぶりの同窓会ということで、たくさんの卒業生の方が、学校へ立ち寄ってくれたのです。中には、いつもお世話になっている打田さん、伊藤さんの顔も・・・

校舎のろう下を歩きながら、「米ぬかを使って、よく拭き掃除をしたなあ。」「校庭の木が大きくなったなあ。」と当時を思い出しながら、楽しそうにお話ししてみえました。今の子どもたちも、やがてこうして白川小を訪ねてくれる日があるのでしょうか。

